

「脇本小学校の脇本学（総合的な学習の時間）の取組」

1 学校名

阿久根市立脇本小学校

2 学年・人数

6年・30人 5年・32人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

- ・ 総合的な学習の時間に、松木弘安（寺島宗則）について学習する。
- ・ 「創立百周年記念誌 脇小百年」の資料やインターネット等をもとに調べる。
- ・ 調べたことをパンフレットにまとめて相互に発表する。
- ・ ウォークラリーでグループごとに松木弘安（寺島宗則）の旧家を見学する活動を行う。

(2) 発表の日時・場所

- ・ 授業で児童相互に発表し紹介し合う。
- ・ 学習したことをパンフレットにまとめ、校内に掲示する。

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

まつきこうあん てらしまむねのり
松木弘安（寺島宗則）旧家（築180年）・江戸後期

(2) 特徴

幕末、英国に密航した薩摩スチューデント一行19名のうちの一人。留学生ではなく一行を引率するリーダーとしての参加であった。松木弘安（のちの寺島宗則）は、幼少時から長崎で西洋文化を学び、島津斉彬の右腕として幕末から明治に初めに大活躍した人物である。日本の近代化に尽くした電信の父と呼ばれ、日本の地位を向上させた外交リーダーとして活躍した。

薩摩スチューデント一行19名のうち実際に過ごした旧家が現存しているのは、松木弘安だけである。昨年度、築180年を超え老朽化した旧家は修復工事が行われた。

5 保存会や地域との連携の具体

5年生の集団宿泊学習を校内で実施した。その中で校区内の史跡等を活用したウォークラリーを行い、松木公安の旧家をポイントの一つとし見学を行い、「寺島会」の方を講師に依頼し説明を受けた。

今後は寺島宗則に関する学習をさらに深化させるとともに、中馬大蔵らの郷土の偉人を学習対象として掘り起こし、学習時間と学習内容を広げる工夫をする。

6 活用の取組の工夫した点

- (1) 平成30年度から、総合的な学習の時間の活動計画に、「ふるさとに学ぼう！ 脇本学」（全14時間）を計画し、活動時間を確保した。
- (2) 夏季休業中の職員研修時のフィールドワークで松木弘安の旧家を見学し教材研究につながる活動を仕組み、工夫をした。
- (3) 5年生の校外学習で校区内のウォークラリーを行い、旧家を訪問し見学・説明を受けた。

7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

(1) 児童

- ・ 総合的な学習で阿久根市について調べました。その中で脇本の偉人、寺島宗則についても調べました。脇本の先輩に日本の歴史に名を残すようなすごい人がいることに驚き、誇りに思います。最近校区内で寺島宗則のポスターを見かけることが多くなりました。先輩である寺島宗則が注目されているのかなと思ってうれしくなります。これからも、脇本や阿久根市の歴史などを調べて、脇本のことを知り、脇本小以外の人にも教えてあげたいと思います。
- ・ 校外学習のウォークラリーで寺島宗則の旧家に行きました。長い間校時をしていたのでどんなものができるのかなと思っていましたが、工事が終わって新しくなってから初めて行きました。校区内にある施設ですが、中に入ったことがなかったので、今回ウォークラリーで訪問しているいろいろなことを学ぶことができてよかったです。

(2) 教職員

職員研修で、松木弘安の旧家の見学に行きました。180年を超え老朽化が進んでいた旧家は昨年度修復工事が行われて、当時の様子がうかがえる建築物に生まれ変わっていました。児童と見学に行くなど、社会科や総合的な学習の時間で活用していきたいと思います。

